

つま恋シリーズ 第7戦

SSクラス (参加39台)

フレーム : birel R31

エンジン : YAMAHA KT100SD

タイヤ : BRIDGESTONE SL07

エンジニア: 加藤 真 (レーシングサービス エッフェガーラ)

メカニック: 市村 真太郎 (チーム エッフェガーラ)

つま恋カートコース

初めて全国制覇を誓った僕 (2005年)



この頃の自分を思い返してみたいと思います

◆今大会にむけての目標、意気込み

11月につま恋サーキットで行われるSL全国大会の前哨戦ということでSSクラスには39台ものエントリーが集まりました。8月にスポット参戦した際には満足はいく結果とは言えずたくさんの課題を残していたので、それらをひとつずつ克服していく事。そしてトップ争いをして全国大会に向けテンションを上げていきたいと思えます。

◆レース結果

・TT 16位 (34.085秒) ・予選 36位 ・敗者復活戦 6位 ・決勝 24位

◆レースレポート

TT…単独走行でトップから約0.2秒遅れで総合16位と埋もれる。スリップを使えばもっと上を狙えたはず。ポジション取りと冷静さを失っていたか?タイトラでいかに上位に食い込むかが課題。
予選…2グループに分かれていた為8番手スタート。アウト側からのスタートだったがすぐにイン側のスペースに飛び込みその後6位にポジションアップ。しかし、セット変更の失敗が響きコーナー立ち上がり鈍く抜き返される。2周目の4コーナーでもさされ、このままズルズル下がると去年のSUGOの二の舞になると踏ん張ったら接触、スピン。再スタートするも敗者復活戦行き決定…。
敗者復活戦…最後列からのスタートで8台抜かないと予選落ちの状況。必死に前のカートを追うが思いのほかペースが伸びない。万事休すかと思った矢先、前方でトップ争い(敗者復活戦ですが…)していたチームメイト2人が接触!おかげで自分はギリギリ予選通過するというヒヤヒヤもんで決勝へ。
決勝…最後尾28番手スタート。ローリング中、いつどこでクラッシュが起きても不思議ではないといったひしめき様に巻き込まれまいと遠くを見ながらスタート。1コーナー「おや?珍しくクラッシュなしか?」と思った瞬間、自分がイン側のカートと接触コースアウト。(情けない…)
気を取り直して再スタートするも、リアシャフトが曲がったのか振動&ブレーキングで右に取られる。その後、よそ見をしてブレーキングを忘れ単独スピン。(馬鹿か…)
自分の不甲斐無さに全国大会へ向け暗雲がたちこめてしまった。

◆レースを終えて

状況は非常に厳しいものではありませんが、残された期間でコンディションを整えて11月7日の全国大会では良い成績が残せるようがんばりたいと思えます。最後に急遽メカニックとして同行してくれた市村さんに感謝します。ありがとうございました。